



(京都西南部)

京都・長岡京跡

- 1 所在地 京都市伏見区羽東師菱川町
- 2 調査期間 一九八一年(昭56)七月～二月
- 3 発掘機関 財京都市埋蔵文化財研究所
- 4 調査担当者 磯部 勝・鈴木久男・辻 純一・吉崎 伸
- 5 遺跡の種類 都城跡
- 6 遺跡の年代 八世紀末
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

財京都市埋蔵文化財研究所は、外環状線街路新設工事に先だって、

京都市伏見区羽東師菱川町の南側を東西方向に発掘調査を継続的に実施している。調査対象地は、長岡京左京四条二坊・三坊・四坊に位置する。調査は一九八〇年(昭55)より開始した。最初の調査では四条四坊より建物、土壙、井戸などが検出され、土壙の中から奈良時代の戸籍断簡が出土している。一九八一年

の調査は、四条三坊・四坊を対象とし、木簡は二点出土した。

一 左京四条三坊(第五調査区)

この調査区で検出された長岡京関係の主な遺構は、掘立柱建物二棟、柵列、溝、土壙などである。木簡(1)が出土したのは南廂付き建物(東西二間×南北三間)のすぐ東側に掘り込まれた土壙内からである。

二 左京四条三坊(第二調査区)

ここで検出された長岡京関係の遺構は、掘立柱建物五棟以上、柵列、溝、土壙など多数ある。木簡(2)が出土したのは、建物跡に隣接して検出された土壙のひとつで、土器、木製品と共に発見された。

8 木簡の釈文・内容

(1) ・「山村里四月十八日」

・「^{〔知カ〕}額田部庭虫」
123×27×7 032

(2) ・「白□□法□□□」

・「八月六日」
109×17×5 031

9 関係文献

財京都市埋蔵文化財研究所『長岡京跡―京都市計画道路路一等大
路第三類第四六号外環状線整備事業に伴う埋蔵文化財発
掘調査報告書』
一九八一年

付記 木簡解説については、奈良国立文化財研究所の鬼頭清明氏・加藤優
氏におねがひしたものである。

(鈴木久男)